

2024年2月9日

北総鉄道株式会社代表取締役 会長 室谷様

北総鉄道株式会社代表取締役 社長 持永様

北総線の運賃値下げを実現する会 事務局担当 間嶋 博

御社、ますますご清栄のこと、お喜び申し上げます。

御社、2023年上期決算では、運賃値下げの効果が出て14%の輸送人員増となり喜ばしいことと存じます。

さて昨年12月15日に公表されました、北総線の回数乗車券の発売終了につきまして、利用者の立場からいくつかお伺いと提案をさせていただきます。

1. 回数券の廃止による利用者としての受け止め

「昼間割引回数乗車券」と「土・休日割引回数乗車券」(以下「特別割引回数乗車券」と略称します)の廃止は、これまでの同回数券利用者にとっては「普通乗車券の2/3の料金で乗車できたものが、普通料金になる(50%の値上げに相当する)」訳ですから深刻な問題です。その結果

- ① 北総鉄道の利用を我慢する(回数を減らす)
- ② 新鎌ヶ谷駅まで乗用車を利用し、新鎌ヶ谷から他社線を利用する
- ③ 結果として北総線の利用者が減少する

2. 「特別割引回数乗車券」の利用状況について

私どもが、「特別割引回数乗車券」をばら売りしている店舗にお聞きしたところでは、「特別割引回数乗車券」の利用状況は、嘗ての状態に戻っている、とのことでした。御社にお聞きしたところ、「回数券の利用はかつては8%程度であったが、現在は3%にまで減少している」とのことでした。多分この数字は「普通回数乗車券も含めた」数字であろうと推察いたします。「特別割引回数乗車券」はむしろ増えているというのが実態ではないかと思っています。この点、利用状況のデータ教示をお願いしていますが、是非宜しく申し上げます。

3. このまま推移(回数券廃止)して危惧されること

新社長になって、折角「北総鉄道は沿線住民のために 15%も値下げして下さった」というイメージから、値上げに転換したと思われることを危惧します。このことは御社の本意では無いと推測いたします。

4. 提案

例 1、回数券は廃止するとの方針をとるのでしたら、これまでの「特別割引回数乗車券」利用者にとって負担増にならずにかつ、より使い勝手が良くなるように、PASMO や Suica の利用時にこれまでと同様の割引が適用される仕組みとしてはいかがでしょうか。これにより、従来の回数券方式と比べて、より容易に利用でき、その結果として北総線を利用する人の絶対数が増えるのではないかと考えます。また、御社のイメージアップにも繋がると思います。

例 2、身障者や通学用には回数乗車券を残すということのようですから

例えば、「東京ホリデー回数券」などと銘打って、北総線内の各駅から高砂までの特別割引回数券を発行する(有効期限は 1 年または半年とする。有効期限が短いと期間中に個人が使い切れないため、買い控えに繋がる)。これにより御社のイメージアップに繋がる。これから退職してくる人たちが利用しやすいようにすることで、乗客増を期待できる。

参考「特別割引回数乗車券」利用者の声

- ・私は都内の病院への通院を 1-2 ヶ月に一度しているので高砂までの昼間券は帰りに利用させていただき大変助かりましたし、高齢者なのでやはり高砂までの昼間券を往復利用してランチも楽しめたので回数券廃止は大変ショックを受けました。回数券の販売店に行くと利用者はかなりいる様でしたが・・・
- ・少々手間はかかっても喜ばれているのだから継続してもらいたい。(販売店の声)
- ・特別回数券の廃止は会社にとっては500万円/年くらいのはなしだが、利用者にとっては50%もの値上げに相当する。
- ・西白井の回数券販売所の寺田屋さんは、回数券がメイン商品のようなもの。
- ・桜台のセブンイレブンは「手間の問題よりも、客に喜ばれていることが嬉しい」とのこと。
- ・白井の理容店は最終日に3カ月分買いだめをする予定、とまで言ってくれている。ばら売り回数券を買いに来る人は、口々に「廃止になったら困る」「お店には申し訳ないが本当に助かっている」「なんとかならないのかしら」などなど、愚痴が多くて大変とのこと。